

第 4 回 JEAG4803 方針検討タスク 議事録

1. 日 時：2022 年 7 月 11 日（月）14：40～17：20
 2. 場 所：一般社団法人 日本電気協会 4 階 A 会議室（Web 併用会議）
 3. 出席者（敬称略，順不同）
 - 出席委員：大平主査(日本原子力発電)，小倉(ウツエハルブサービス)，山口(元東京大学)，
出町(東京大学)，仲井(元日本原子力研究開発機構)，葛西(日本電気協会) (計 6名)
 - 代理出席者：関(九州電力，三隅委員代理)*¹ (計 1名)
 - 欠席委員：なし (計 0名)
 - 常時参加者：なし (計 0名)
 - オブザーバ：永田(日本原子力発電) (計 1名)
 - 事務局：葛西，田邊(日本電気協会) (計 2名)
- * 1：Web 出席

4. 配付資料

- 資料 No.4(1)-① 原子力規格委員会 運転・保守分科会 JEAG4803 方針検討タスク 委員名簿
- 資料 No.4(1)-② 原子力規格委員会 運転・保守分科会 JEAG4803 方針検討タスク 委員名簿 出欠・手段
- 資料 No.4(1)-③ 第 3 回 JEAG4803 方針検討タスク議事録（案）
- 資料 No.4(1)-参考 1 第 49 回 運転・保守分科会 議事録（案）
- 資料 No.4(1)-参考 2 JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針の扱いについて
- 資料 No.4(2) JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等について（改訂）
- 資料 No.4(2)-参考 JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等について
- 資料 No.4(3)-本文 JEAG4803-1999 軽水型原子力発電所の運転保守指針の扱いについて
 - 添付 1 JEAG4803 に関する運転・保守分科会での主要議論、結果（詳細）
 - 添付 2-1 パート E 非常用炉心冷却系の性能試験 step 1
 - 添付 2-2 JEAG4803 パート E の評価結果の纏めを踏まえた 4803 扱いに係る考察(案)
 - 添付 3 パート C 弁の供用期間中試験 step 1
 - 添付 4 JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等について
 - 別紙 1 1995.10.23 公開前の分科会議事録
 - 別紙 2 1997.2.21 議事録運転分議
 - 別紙 3 1999.3.18 日本電気協会における OM 指針の作成状況及び作成上の考え方
 - 別紙 4 1999.3.30 運転・保守分科会議事メモ
 - 別紙 5 2001.4.25 委員会規約制定について
 - 別紙 6 2001.4.25 委員会組織図
 - 別紙 7 2006～2019 年度計画変遷 JEAG4803
 - 別紙 8 2004.4.5 OM幹事会議事録（案）R1 他
 - 別紙 9 JEAG4803 に対する運転保守分科会での議論を踏まえた対応について
 - 別紙 10-1 Div.1 ASME O&M2022-JEAG4803 目次（Summary）
 - 別紙 10-2 Div.2, 3ASME O&M2022-JEAG4803 目次（Summary）
 - 参考 1 原子力規格委員会ホームページ（廃止規格）

- 参考 2 原子力発電所の運転マニュアル作成指針の改廃について
- 参考 3 規格廃止提案の分科会議事録&書面投票結果
- 参考 4 規格廃止提案の委員会議事録&書面投票結果
- 参考 5 JEAG4801 原子力発電所の運転マニュアル作成指針の公衆審査結果
- 資料 No.4(4)-① 【本文骨子】.JEAG4803-1999 の扱いについて r9(2200701JEA 受領版を改訂)
- 資料 No.4(4)-②-1 1(3)-参考 非常用炉心冷却系のサーバランス試験、試験の概念
- 資料 No.4(4)-②-2 規格(JEAG)と検討会に係わる規約並びに JEAG4803-1999 について
- 資料 No.4(4)-②-3 (纏め) JEAG4803 と運転保守指針検討会へのご意見
- 資料 No.4(4)-③-1 JEAG4803 の概要 (パート C、E)
- 資料 No.4(4)-③-2 軽水型原子力発電所の運転保守指針

5. 議 事

会議に先立ち事務局より、本会議にて、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、議事が進められた。

(1) 代理出席者、説明者、オブザーバの承認、定足数確認、配付資料確認、前回議事録確認 等

事務局より配布資料の確認の後代理出席者 1 名の紹介があり、タスクグループ規約第 6 条 (委員の代理者) 第 1 項に基づき主査の承認を得た。確認時点で代理出席者を含め、出席委員数は 7 名で、タスクグループ規約第 9 条 (決議) 第 1 項の決議条件である委員総数の 2/3 以上の出席を満たしていることを確認した。その後オブザーバ 1 名の紹介があり、タスクグループ規約第 7 条 (タスクグループ開催) 第 3 項に基づき主査の承認を得た。

その後、事務局より、資料 No.4(1)-③に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて、タスクグループ規約第 9 条 (決議) 第 1 項に基づき決議の結果、特にコメントはなく、全員賛成で承認された。

また委員より、資料 No.4(1)-参考 1 及び資料 No.4(1)-参考 2 に基づき、第 49 回運転・保守分科会議事録 (案) 及び本日のタスクの進め方について説明があった。

(2) JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等 (審議)

委員より資料 No.4(2)及び資料 No.4(2)-参考に基づき、JEAG4803 方針検討タスクの進め方、スケジュール等の改定内容について説明があった。

審議の結果、資料 No.4(2)について一部修正することを前提に承認するかについて決議の結果、全員賛成で承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.4(2)の 1 頁「②他規格への最新知見の残し方と、それを行う検討会について」について、最新知見の残し方とは、ASME O&M の 2020 も含めてということなのか。タスクの趣旨からすると、JEAG4803 の知見の残し方ということになると思う。
- 資料が分かり難かったかもしれないが、結論から述べると今の意見の通りで、そのつもりで資料

に記載した。ASME O&M の 2020 をどうするかについては、本タスクのミッションではない事は決めているため、最新知見の残し方としても本タスクのミッション外であると考えている。具体的に何を他規格への最新知見として残すのかと言うと、JEAG4803 パート E のニーズ評価をしてみると「JEAG4210 に入れた方が良い」の様な内容があり、本タスクでも関係者として分科会委員と保守管理検討会 3 役を呼びディスカッションした。ただし、ニーズ評価だけで JEAG4210 に残せないで、どの様に残していくか、残さないという選択肢もあるかと思うが、それは本タスクが実施するのではなく、所掌する検討会が実施するものと考えている。

- 当該の記載について表現を少し見直す。本タスクの中で確認しているのはパート C とパート E だけであり、他のパートもある程度は類推できるかもしれないが報告書には書けないと思う。そこまでも含めて、新規検討会の方に見てもらおうということで良いと思う。
- ・ 資料 No.4(2)の 2 頁、スケジュールの「(既存検討会で対応の場合)」は保守管理検討会にお願いする事になりメンバーが決まっている。もう 1 つの「5. (新規検討会を設置の場合)」は、新規検討会といっても名称が変わるだけで、基本的には本タスクのメンバーに保守管理検討会の全員か一部のメンバーで構成されるような検討会が考えられる。というような 2 つの提案の進め方をすると、より具体的なイメージが湧き議論をしやすくなると思う。
- 新規検討会設置の場合には、どのようなスケジュール感とか、どういう構成、人選にするのかということ、決議する必要があると思っている。先ほどの意見は、新規検討会設置に関してはどのような方法があるかを提案するという事か。
- ・ 本件、新規検討会か保守管理検討会かの何れか本タスクで選定して提案することになる、個人的には新規検討会設置の方が良く、実態はかなりのメンバーが保守管理検討会から参加することになれば、筋論としても通るのかと思う。そうすると分科会の決議事項を、本タスク側では決定できないとは思いますが、新規検討会か、保守管理検討会で継続検討するというアイデアもある。
- 本タスクとして、新規検討会について具体的な構成、人選も踏まえてこういう名簿になっていると提案するのは難しいのではないか。
- ・ 保守管理検討会として、各社の意見を集約している。その内容は、元々 JEAG4803-1999 のはじめの所に「日本電気協会では原子力発電所の自主保安体制の一層の充実を図るため、原子力専門部会、旧原子力専門委員会の運転保守分科会の下に、保守管理作業会を設置し」の頭書きが書かれている。これを踏まえると、保守管理作業会とは、保守管理検討会の中の作業会ではなくて、運転・保守分科会の作業会として設置すべきであるということで、今議論になっている JEAG4803 の廃止については、運転・保守分科会の傘下に設置すべきであるということであるというのが、保守管理検討会の意見である。そのため、保守管理検討会内では新規検討会を設置すべきであるということで、どの様なメンバーに参画してもらう予定か候補メンバーについては確認済である。
- 今程の内容は、報告書の資料 No.4(3)-別紙 9 として取り込んであり、保守管理検討会では実ただ単に施したくないと反対しているのではなく、どのように誰が実施するのかということ踏まえて新規検討会の設置が提案なされている。
- ・ 前回の運転・保守分科会でディスカッションした時に、最初は保守管理検討会という意見はあったが、JEAG4803 の記載内容が保守管理検討会に近いということだけでお願いするのは少し乱

暴すぎるため、新規検討会を設置という流れであったと思う。

- ・ 新規検討会を設置するか否かということは、本タスクが提案するのか、それとも運転・保守分科会で提案するのか。
- 本タスクからの提案がないと、運転・保守分科会では決められないと思う。
- ・ 規約では分科会で検討会を設置することが出来ることになっているため、前回分科会でいっそ設置するという所まで進めても良かったのかも知れないが、そこはもう一度タスクを開催し、その旨について検討を実施し、次回分科会で新規検討会を設置するというのであったと思う。
- ・ 原子力規格委員会でもこの問題を早く解決するような強い理由はなく、タスクで十分議論し、分科会としての明確な方針をまとめ、後は具体的な検討会を作成し、ワークを進めるという所まで来ている。よって今後のスケジュール感としては、そこまであわてて進めなくても良いかと考えるが如何か。
- ・ 今度の12月の運転・保守分科会で書面審議となっているが、次年度に向けての3月の活動報告で具体的にJEAG4803は廃止の方向で上程するということが報告出来れば良いので、あまり焦ってことを進める必要も無いのかと思う。12月の前に本日の本タスク議事録を付けて、新規検討会の設置をメールで書面審議し、決めるということではどうか。
- それでも良い。今回の資料として示した考えは分科会審議で新規検討会設置を決議し、その後で書面審議を実施しようと考えていたもの。分科会の前に書面審議を実施することで決議し、分科会で名簿審議も良いと考える。
- ・ そうする事により、検討会設置は決まっているので、次年度の活動計画に来年度廃止の方向で検討を実施する趣旨を記載できる。その様に進めたい。
- 本タスクとして報告書を纏め上げるのはもう少し後になり、他の分科会とも意見交換を実施する等を考えていた。報告書案としては資料No.4(3)で良いと考えるが、12月で最終版になると考えている。そうすると、報告書は12月になるがその前に書面審議する内容は、新規検討会をどうするかのみが審議対象と思うが如何か。
- 保守管理検討会にも委員変更があり主査と副主査が不在になっており、8月中には検討会委員の承認について分科会で書面審議を実施して頂きたいと考えていた。本日の本タスクで決議がなされていないため運転・保守分科会に何を提案して決議してもらうかは現時点では決められないが、本日の決議が取れば新規検討会を設置することも合わせて8月中に分科会に提案したい。そうすると、本タスクは12月に解散ということになる。
- ・ スケジュールを後ろ倒しにすると検討に携わった方々の人事異動等があるので、急ぐというよりも、あまり時間をかけない様に検討会の立ち上げすべきと受け取った。再度ゼロからの印象になると、ボリューム感があり大変になる。
- ・ 本日の審議対象物は報告書と思っていたが、資料No.4(2)のスケジュールの中に「新規検討会を設置して検討する」と書き込んで、この資料の決議を取れば良いと考える。
- 本タスクが新規検討会設置について提案することについて本日決議することは押承。ただし、この資料No.4(2)のスケジュールとしては、提案内容を運転・保守分科会で承認・可決するとは限らないため、「新規検討会を設置して検討する」とは書き込まず「5. (新規検討会を設置の場合)」の記載のままとなる。
- ・ それでは、資料No.4(2)の1頁の「②他規格への最新知見の残し方と、それを行う検討会につい

て」の表現見直しと、2頁の「5. (新規検討会を設置の場合)」を8月の書面審議に合わせて行うスケジュール感に関連する箇所も修正する事を前提として、資料 No.4(2)について、承認するか
の決議を取りたいと考える。

- 特に異論がなかったので、資料 No.4(2)について一部修正することを前提に承認するかについて、
タスクグループ規約第9条（決議）第1項に基づき挙手により決議の結果、全員賛成で承認さ
れた。

(3) JEAG4803 方針検討タスクでの報告書案について（審議）

委員より資料 No.4(3)に基づき、JEAG4803 方針検討タスクでの報告書案について説明があった。

a. 新規検討会を設置することについて

審議の結果、資料 No.4(3)の11頁の「①規格廃止には、規約に基づく対応が必要であるため、そ
の対応を行う依頼先として新規検討会の設置を提案する。」について、本タスクとして提案するか
について決議の結果、全員賛成で承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.4(3)11頁の①から④の①については、本日の本タスクで審議の上で決議し、②から④は
本タスクで引き続き検討を進めるといふことにしたいと考えている。
- ①は新規検討会を設置することを提案しており、②は技術資料として残すことを提案している。
③は技術資料として残すのは保守管理検討会であると提案している。④は ASME O&M が本タ
スクのミッション外としている。
- ・ 先ずは、①の新規検討会の設置提案の審議だと思うが、①は本タスク内の委員の考えは統一され
ていて、②～④は考えがバラバラの可能性はある。特に③は資料を見てどうかと思った。
- ・ ②、③の議論になる前に、①の新規検討会ということだが前回の運転・保守分科会でも保守管理
検討会か新規検討会の何れか提案するということにしたため、現在の①の記載内容に、タスクの
中でちゃんと検討し、この様な理由で新規検討会を提案するという趣旨を追記しないと、運転・
保守分科会にも提案できないと思う。
- ・ 提案理由は No.4(3)11頁の①「→」に2つ記載されているが、先ずは運転・保守分科会で検討し、
それに加えて保守管理検討会で検討した結果をもって、新規検討会のミッションの具体的な対
応については保守管理検討会も協力し対応するという意見もあるということを進めれば良いと
思った。
- むしろ、運転・保守分科会では、新規検討会で実施するのか、保守管理検討会で実施するのか。
という議論は既に実施していることから、①の記載は「→」の2つの提案理由は削除し、本文2
行のみで良い。
- ・ 次回分科会でどちらにするかを審議する進め方であれば現在の記載で問題ないが、先の議題で
分科会前に書面審議で決めるスケジュール感したため、何らかの提案資料が必要で、その提案資
料は分科会長からの提案資料になるのか。
- 前回分科会の議事録の記載の通り「規格廃止の場合には、規約に基づく対応が必要であるため、

その依頼先として・・・分科会長が指示をして進めることになっている。」を踏まえ、また、昨今の実績として水密化技術検討会の新規設置や、本タスクの新規設置を参考に、分科会長からの提案資料は必要であると考えている。そのため、新規検討会を提案する事になった場合の提案資料については事前に分科会長には内容確認頂きコメント反映している状況。しかし、先の議題で書面審議スケジュールが前倒しになる事を想定していなかったため、提案資料が分科会長からの提案資料となるのかは別途調整が必要と考える。

- ・ 本タスクとして、新規検討会の設置を運転・保守分科会に提案することについて、提案資料をタスクとして作成し、それを運転・保守分科会に提出し、分科会はそれを持って書面審議に入るという流れで良いか。
 - 分科会書面審議に諮る資料は、他の書面審議に同じく分科会3役と相談の上で決めて頂ければ良い。タスクで決議した内容を含む資料を分科会に提案する。その提案資料は事務局と分科会3役が相談し、分科会長の判断で、書面審議を実施することになると思う。事務局で段取りを決めて進めてほしい。
 - ・ 本タスクとしては①について決議し、報告書の記載ぶりは引き続き報告書 **FIX** に向けて検討を進めてもらえば良い。資料の一部を特別に取り出して審議ということでも問題ないと考える。
 - ・ それでは、資料 No.4(3)の 11 頁の「① 規格廃止には、規約に基づく対応が必要であるため、その対応を行う依頼先として新規検討会の設置を提案する。」の部分のみについて、承認するかの決議を取りたいと考える。
- 特に異論がなかったので、資料 No.4(3)の 11 頁の①の 2 行に記載の新規検討会を設定することを運転・保守分科会に提案することを承認するかについて、タスクグループ規約第 9 条 (決議) 第 1 項に基づき挙手により決議の結果、全員賛成で承認された。

b. 分科会技術資料と最新知見の確認について

審議の結果、資料 No.4(3)の 11 頁の③の感触について、保守管理検討会に確認依頼をすることにした。それに合わせて本タスク委員と運転・保守分科会委員（規格化への意見者）と保守管理検討会3役とで意見交換を実施した件についても、保守管理検討会新体制でも引き続き変わらないかを確認することにした。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.4(3)の 11 頁の「③ ②の原案作成は保守管理検討会とすることを提案する」とあるが、新規の検討会が所掌する範囲ではないかという意見が絶対に出てくると思う。
- 以前、保守管理検討会とディスカッションを実施し、「ASME O&M の全ては難しいとしても、部分的に関係規格として次回の 4209 改定時には海外知見として確認しても良いのではないかと。ASME O&M の全ては難しいとしても、部分的に関係規格として次回の 4209 改定時には海外知見として確認しても良いのではないかと。」ということだった。つまり、JEAC4209/JEAG4210 の最新知見として、ASME O&M の一部分を見ても良いが、全部を見るということはないが、部分的に実施していくと、上位委員会に最新知見の網羅性を問われて全体確認することになる

のは避けたい、との事であった。

- ・ それとこれとは違うと思う。保守管理検討会の立場としては一部であれば実施しても良いと言っていたのは記憶しているが、本タスクとしては ASME O&M の全てを最新知見として実施する所掌先を決めるのだと思うが。
- それは No.4(3)の 11～12 頁の④の提案の話になる。議題 2 でも、最新知見が ASME O&M 全体か、それとも JEAG4803 の記載なのかという議論あったが、③については JEAG4803 の記載について提案していて、④については ASME O&M 全体の話をしている。規格の最新知見の残し方として、現時点では ASME O&M 全体とは思っておらず、JEAG4803 の一部を残す意見があったので、②として分科会の技術資料として残そうとしている。
- ・ JEAG4803 の廃止を検討するのは新規検討会であるが、JEAG4803 の残す知見は保守管理検討会が実施するということか。
- JEAG4803 の一部の記載について、分科会委員の評価が「指針(JEAG4210)に記載できるか検討会に依頼するべき。」と JEAG4210 の検討会を指名しているため、保守管理検討会であると考えている。
- ・ 保守管理検討会側としては、JEAC4209 及び JEAG4210 に JEAG4803 から持ってくるものがあるかということ。それと、JEAG4803 を何処の規格に残してほしいというのは、新規検討会で検討することであること。よって、②、③について保守管理検討会が合意していないのであれば、ここでは少なくとも議論できないと考える。
- 保守管理検討会が JEAC4209/JEAG4210 のために JEAG4803 の一部記載を取り込むために ASME O&M の一部を確認し、新規検討会が分科会技術資料のために ASME O&M の同じ箇所を確認する事は、リソースが重複することになる。保守管理検討会が担う理由は、それを避けるためである。また、新規検討会は JEAG4803 廃止のために設置するのであり、ASME O&M を最新知見として確認するミッションを担うのかが決められていない中で、新規検討会は未だ存在しない状態で事前調整も出来ない。よって、③について新規検討会で行う、と本タスクで決めるのは困難であると考えられる。
- 保守管理検討会としても従前の話と新規の話がある。本タスクで議論を進めるために、誰と何をどの様に調整をして行くのかについて、決議不要であるが議論して方向性を導いて頂ききたい。
- ・ JEAG4803 の一部を技術資料にするとか、ASME O&M とか、今回の本タスクの結論もまとまっていないため、運転・保守分科会に報告するのはもう少し調整、検討が必要になると考える。
- ・ No.4(3)の 11 頁の③の②の原案作成は保守管理検討会とすることを提案するというのは、保守管理検討会も JEAG4803 の技術的な中身をももちろん確認はするとしても、技術資料として残すかどうかということは想定していない作業でもある。一方、規格を廃止すると決めて、新規検討会が設置されるので、その検討会の中で規格廃止はするが、ここは残すということ、新規検討会の中で行う方が流れとしては良いかと考える。No.4(3)の 11 頁は結論として書かれているので、その手前の報告が仕上がってくると、必然的に議論できるような気がする。保守管理検討会の委員の方の意見は如何か。
- ・ 保守管理検討会としての意見になるが、今日の議論は初めて聞くことなので、保守管理検討会に持ち帰り、方向性について議論させて頂く。

- ・ 既存の検討会で検討できるというのであれば、それはそれで有難いことだと思う。次回の保守検討会で本件の議論してほしい。要するに JEAG4803 を廃止すると決めたものの、11 頁②で記載の一部については、JEAC4209/JEAG4210 改定として取り込むか、あるいは技術資料の形で残しておいてほしいということを出出するという作業を、保守管理検討会は当然保守の経験者が多いので、既存の体制で実施すれば早く完了すると思っているが、ミッションが違うということであれば、新規検討会の方で検討することになるし、そこは作業を受ける方々の意見を伺った上で決めて、その後に調整が入ってくると考える。保守管理検討会で検討をお願いします。
 - ・ アンケートで保守管理検討会に聞いた時には、技術資料としてではなく、回答の中では一部を JAG4210 に反映できるかもしれない、つまりはっきりしないというような意見であった。現在、保守管理検討会で JEAG4210 の改定を検討しているところであるが、その時に JEAG4803 の ECCS の内容を JEAG4210 では全然記載していないので、取り入れるかどうかを検討しようぐらいの内容であったと思う。なので②、③については保守管理検討会に確認してからの議論と考える。③の方もこれが必要かどうかというのは、②の保守管理検討会の活動として必要な部分だけピックアップするというのであれば、ここに記載する必要はないと思う。ASME O&M の話は別の話なので、②、③の記載内容は必要か否かも含めて新規検討会に全て任せるといったようなやり方もあるのかと思う。
 - ・ JEAC4209 及び JEAG4210 の定期改定時に、JEAG4803 のこの部分については入れておくというのは通常の活動と考える。JEAG4803 については、JEAG4210 に引き継いでほしいというのも分かる。とりあえずは残しておいて、くどいようであれば記載を簡略化するのも良いと考えられる。ここは一旦、保守管理検討会の方で扱いを決めてもらい、それを見て提案の中身を決めることにしたい。
 - ・ よって、資料 No.4(3)の 11 頁の③について、保守管理検討会で確認して頂きたい。その際、本タスク委員と運転・保守分科会委員と保守管理検討会 3 役とで意見交換を実施した件について、保守管理検討会新 3 役の体制でも変わらないのかも合わせて確認して頂きたい。
- 拝承。

(4) JEAG4803 方針検討タスクでの報告書案の構成変更について（審議）

大平主査より資料 No.4(4)-①に基づき、JEAG4803 方針検討タスクでの報告書案の構成変更について説明があった。

審議の結果、報告書について本日の審議内容を反映し、修正することについて決議の結果、全員賛成で承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 報告書の資料 No.4(3)には、分科会と本タスクでのプロセスの話が入っていない。加えて本タスクでの話が一つも入っていない。つまり JEAG4803 を廃止するに至った審議の内容を書いた方が良いのかと思う。そういう意味で報告書が完成に近づいてからの方が、運転・保守分科会に報告するのはもう少し待った方が良いと考える。
- 報告書の構成を変更するのはエディトリアルな修正なのか、報告書の内容の変更になるのか。

- ・ 報告書としては、本タスクの中で今まで議論してきたことを纏めることが一番のミッションになる。そのため、先程のスケジュールだと12月の運転・保守分科会時には報告できるようにしておくということで、現時点では報告書案として資料No,4(3)になるが、かなり添付とか別紙とか素材が用意されている状況。それについて、資料No,4(4)-①の目次と書いてある資料は報告書の体裁という目で見たいが、この資料は本文案に対して骨子案を作ってみた。目次構成としては、1.概要、2. 本規格の制定及び運転・保守分科会での検討の経緯、3. 本規格の主な内容とユーザー実施状況、4. 本規格の今後の扱いに係る検討、5. まとめ、6. 参考情報とした。
 - ・ 「2. 本規格の制定及び運転・保守分科会での検討の経緯」は、1999年の話であり、公開前の情報がある、どの様に扱っていく予定か。
 - 書ける範囲で書くということになると思う。
 - ・ 「3. 本規格の主な内容とユーザー実施状況」について、なぜこの規格が使用されなかったのかというのは分からない部分と考えられる。
 - 触れない方が良くとも一方で思ったが、規格が導入された以降に新検査制度が出来たものの改定されなかったと、思いつくがまま書いた部分もあるので持ち帰り検討する。
 - ・ JEAG4803は定期事業者検査前から発刊されていると思っており、「3.(1) 本規格の制定の目的」が合わない気がする。時間軸としてどの様であったか教えて欲しい。
 - JEAG4803は1999年で定期事業者検査前に発刊されている。
 - ・ その部分については、参考に概要を記載することにする。
 - ・ この先どのように、報告書作成を進めていくか。素材は一通り揃っているので、後は文書をひたすら作成し、それに素材の別紙とか添付を齟齬なく付くようにする作業になり、最後に繋がりを見て行くという作業になると思う。次期主査と事務局で進め方を調整して進めてほしい。
 - ・ 次回運転・保守分科会で報告書を示すことになるが、公開があやしい資料については日本電気協会として大丈夫なのか。
 - 資料の公開請求された際には、個人情報や技術機密等の箇所にはマスキングを実施するなどの対応を実施するので問題ない。ただし、本タスクは検討会レベルとして公開があやしい資料も全て扱うとしても、運転・保守分科会に出す時は配慮、考慮はした方が好ましい。
 - ・ それでは今の審議の結果を反映し、報告書とすることについて決議を取りたいと考える。
- 特に異論がなかったので、報告書について本日の審議の結果を反映し、修正することについて、タスクグループ規約第9条（決議）第1項に基づき、挙手により決議の結果、全員賛成で承認された。

(5) その他

- ・ 次回は8月下旬～9月上旬の何れかで作業会を実施するということになると考える。報告書関係の情報は事務局に送付すること。

以上